

17

(有)横田農場ほか (茨城県龍ヶ崎市等)

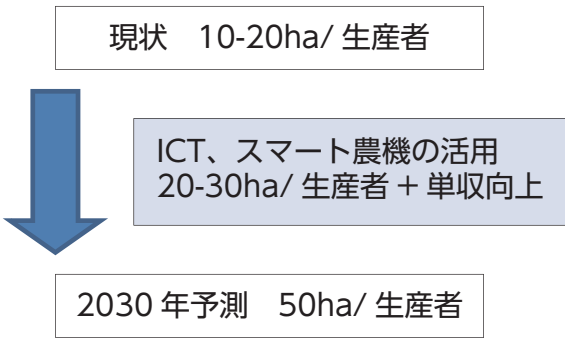
実証面積：40ha

実証課題名 関東平担部における栽培管理支援システムとスマート農機の連携による大規模水稻作営農体系の実証

構成員 農研機構、茨城県、(株)クボタ、(株)関東甲信クボタ、クボタアグリサービス(株)、(株)サタケ、(株)日立ソリューションズ、(株)ビジョンテック、(有)横田農場、YAMAGUCHI farm(株)、内藤貴通

背景・課題 ○水田作の急速な規模拡大が進む中、水稻作の大幅な作業効率の向上、大規模・多数ほ場条件下での収量・品質の高位安定化が急務

平坦地の大規模水田作



本実証プロジェクトにける想い

平坦地の水田作地帯では、急速な農地集積が進行しており、2030年までに担い手の経営面積は、平均100ha規模に達すると予測されています。このような将来を見据え、ICTとスマート農機の連携による大規模水稻作営農体系を実証します。

- 目標**
- ロボット農機や水管理システム導入による対象作業の作業時間20%減
 - ICTや収量コンバインを活用したデータ駆動型農業により生産性10%向上
 - 上記等の達成により、従事者一人当たりの労働報酬を40%向上

実証する技術体系の概要

- 要素技術**
- ①圃場水管理システム+配水管理制御システム、②自動運転田植え機、③ロボットトラクタ、④食味・収量コンバイン、データ連携選別機、⑤栽培管理支援システム・営農管理システムの統合利用

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「見られる！」ポイント		②	①			④				③		

<p>①圃場水管理システム (株)クボタケミックス</p>	<p>②自動運転田植え機 (農研機構革新研試作)</p>	<p>③ロボットトラクタ (株)クボタ</p>	<p>④食味・収量コンバイン データ連携選別機 (株)クボタ、(株)サタケ</p>	<p>⑤栽培管理支援・営農管理システム (株)日立ソリューションズ、(株)ビジョンテック、農研機構</p>
--	---	------------------------------------	--	--

問い合わせ先

- ▶実証代表 農研機構 中央農業研究センター TEL：029-838-8481 (代表)
- ▶視察等の受入について 同上